

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公開番号】特開 2000-37187 (P2000-37187A)

【公開日】平成 12 年 2 月 8 日 (2000.2.8)

【出願番号】特願 平 11-140305

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/577 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A C

C 0 7 K 7/08 Z N A

C 0 7 K 16/18

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/577 B

C 1 2 N 5/00 B

A 6 1 P 1/18

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 43/00

A 6 1 K 39/395 N

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 19 日 (2006.5.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】19P2 リガンドまたはその誘導体の C 端側の部分ペプチドに特異的に反応するモノクローナル抗体。

【請求項 2】19P2 リガンドが配列番号：1、配列番号：2、配列番号：3、配列番号：5 または配列番号：12 で表されるアミノ酸配列からなるペプチドである請求項 1 記載の抗体。

【請求項 3】(i) 配列番号：1、配列番号：2 もしくは配列番号：3 で表されるアミノ酸配列の第 18 番目～31 番目のアミノ酸配列からなるペプチドであって C 端がアミドであるペプチド、(ii) 配列番号：5 もしくは配列番号：12 で表されるアミノ酸配列の第 8 番目～20 番目のアミノ酸配列からなるペプチド、または (iii) 配列番号：1～配列番号：7、配列番号：10 もしくは 11 で表されるアミノ酸配列の C 末端の 9 残基のアミ

ノ酸配列からなるペプチドに特異的に反応するモノクローナル抗体である請求項 1 記載の抗体。

【請求項 4】配列番号：7 で表されるアミノ酸配列からなるペプチドを認識するモノクローナル抗体である請求項 1 記載の抗体。

【請求項 5】配列番号：8 で表されるアミノ酸配列からなるペプチドを認識しないモノクローナル抗体である請求項 4 記載の抗体。

【請求項 6】マウス Ig G である請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載のモノクローナル抗体。

【請求項 7】受託番号が F E R M - B P 6 2 9 9 であるハイブリドーマ細胞 P 2 L - 1 C により産生され、P 2 L - 1 C a で標示される請求項 6 記載のモノクローナル抗体。

【請求項 8】P 2 L - 2 C a で標示される請求項 6 記載のモノクローナル抗体。

【請求項 9】1 9 P 2 リガンドまたはその誘導体の中間部分ペプチドに特異的に反応するモノクローナル抗体。

【請求項 10】1 9 P 2 リガンドが配列番号：1、配列番号：2、配列番号：3、配列番号：5 または配列番号：1 2 で表されるアミノ酸配列からなるペプチドである請求項 9 記載の抗体。

【請求項 11】配列番号：1 で表されるアミノ酸配列の第 1 2 番目～2 4 番目のアミノ酸配列、配列番号：2 で表されるアミノ酸配列の第 1 2 番目～2 4 番目のアミノ酸配列または配列番号：3 で表されるアミノ酸配列の第 1 2 番目～2 4 番目のアミノ酸配列に特異的に反応するモノクローナル抗体である請求項 9 記載の抗体。

【請求項 12】配列番号：1 1 で表されるアミノ酸配列からなるペプチドを認識するモノクローナル抗体である請求項 9 記載の抗体。

【請求項 13】配列番号：4 または配列番号：6 で表されるアミノ酸配列からなるペプチドを認識しないモノクローナル抗体である請求項 9 記載の抗体。

【請求項 14】マウス Ig G である請求項 9 ～ 1 3 のいずれかに記載のモノクローナル抗体。

【請求項 15】受託番号が F E R M - B P 6 3 0 0 であるハイブリドーマ細胞 P 2 L - 1 T により産生され、P 2 L - 1 T a で標示される請求項 1 4 記載のモノクローナル抗体。

【請求項 16】請求項 1 または請求項 9 記載のモノクローナル抗体を用いることを特徴とする被検液中の 1 9 P 2 リガンドまたはその誘導体の定量法。

【請求項 17】請求項 1 記載の抗体と請求項 9 記載のモノクローナル抗体を用いることを特徴とする被検液中の 1 9 P 2 リガンドまたはその誘導体の定量法。

【請求項 18】請求項 1 または請求項 9 記載のモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマ細胞。

【請求項 19】受託番号が F E R M - B P 6 2 9 9 であるハイブリドーマ細胞 P 2 L - 1 C。

【請求項 20】受託番号が F E R M - B P 6 3 0 0 であるハイブリドーマ細胞 P 2 L - 1 T。